

# 令和5年度 福井県立武生商工高等学校学校関係者評価書

学校名 (福井県立武生商工高等学校)

(問) ・今年度の取組みについて、学校評価書の成果と課題が適切かどうか。  
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策は適切かどうか。  
・その他気づいた点はないか。

(意見を聞いた方)

PTA会長、PTA副会長(2名)

## 意見欄

### 1 教育課程・学習指導

・タブレットを使った自宅学習はとても効率的だと思います。そこでクラウド上に学習プログラムを可視化する仕組みなど生徒自身が自分ごととして振り返れるシステムがあると良いのではないのでしょうか。ノーションなどロジックツリーのように可視化できると良い  
・タブレットを活用しての学習は生徒も取り組みやすかったと思います。資格取得に向けて個々が意欲的に取り組めるようなタブレット学習を取り入れてほしい。  
・多感な思春期の子供との向き合い方は、困難を極める場面もあるかと思いますが、頭ごなしの教育はもう教育とは言えない時代になりました。事実は何なのか？何を訴えているのか？何を主張しているのか？をじっくり聞く耳を持ってほしい

### 2 生徒指導

・外的な制度については特にはないですが、内的な面で生徒の意識を高める必要があると思います。「社会情動的スキル」など幼少期に「あそび」を通じて学べる「非認知能力」の低下が深刻に感じるようになってきました。校外学習や、外部講師事業など、学校外の人間との関わり合いから、社会人に必要な心構えを学べる事業があると良いと思いました。外部団体(商工会議所青年部、ロータリークラブ、地元企業等々)との連携をさらに深めてほしい。  
・キャンパス統合に伴い、生徒数増加に伴い遠方から通学する生徒も増えてきます。交通安全の啓蒙だけでなく、ヘルメット装着の推奨等、具体的な指導をしてほしい。  
・外部コーチによる部活動指導もより積極的に取り入れてほしい。  
・生徒の挨拶に関しては問題ないと思います。  
・頭髪や身だしなみに対し、なぜ？の疑問が残ります。生徒主体ではなく、社会主体でかつ人間性あふれる生徒指導をお願いしたい。

### 3 進路指導

・積極的なキャリア教育事業を行う必要があると思います。外部団体と連携し、「仕事の意義と意味」「人生設計」「模擬面接」など商業系工業系学校として充実したプログラムなど必要かと思いました。  
・生徒が目標を持って取り組めるように、資格を取得することで進路にどのように生かせるかを具体的に示してほしい。  
・進学希望の生徒に対して、細やかな指導がされていると思います。生徒の特性を生かせるよう共に考え、最善の方法は何か保護者も含め情報共有できています。もっと、そういったことを対外的にアピールしていくべきだと思います。  
・親身になっての言葉通り。親の身と変わらない指導ができていますと感じます。

### 4 保健指導

・メンタルトレーニングの必要性を感じました。

### 5 図書指導

・朝読書の充実継続をお願いします。  
・大人になると気づくのが、図書、特に読書の重要性。「言葉を知る」、「知識を得る」など動画ではなく、活字から学び得るものは多い。図書をする機会を確保してほしい。

### 6 保護者との連携

・生徒の欠席等の連絡が電話のみのため、オンラインでできるようにしてほしい。

### 7 その他(工業科・商業科)

・工業学科共通で受験する基本となる資格においては、全体で取り組めるシステムの構築が必要と感じる。目標に向かって一致団結できるような方法があると合格者が増えると思います。  
・統一校舎にむけて生徒より先生同士のコミュニケーションが懸念される 今のうちから親睦を深める事は必要と感じます。

(全体)

・バスの運行について再度検討いただきたい。HRが12:40までである日に、12:30でバスが出てしまったら、バスの意味がなくなります。バス会社との密な情報交換が必要です。

## 学校関係者評価を踏まえた今後について

・年度ごとにこのような形で評価することは大変重要です。ですが、数年スパンで移り変わりが見るともっと良いと思いました。  
・次年度は2キャンパス最後の1年です。工業・商業、それぞれが積み上げた歴史と伝統が融和し、さらに魅力のある素晴らしい高校になるよう、生徒・先生・PTAが一丸となって頑張っていたきたいと思います。